

DOCUMENT EYE

series—221

混合交通を観察する

6月1日より改正道路交通法が施行され、自転車の通行区分が明確化された。また、30年ぶりに改正された「交通の法に関する教則」では自転車の走行上の注意事項として、片手運転（携帯電話の使用等）やヘッドホンの使用等をした状態での運転など、危険な運転をやめることが規定された。

こうした中、自転車はルール通りに通行しているのだろうか。信号機のない交差点での一時停止状況をはじめ、自転車がルールを守っているか観察した。

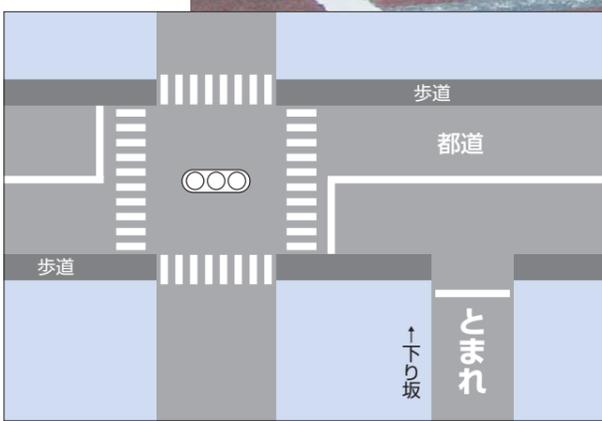
WHY
自転車利用者は
ルールを守って
運転しているか？



- ### 自転車安全利用五則
- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
 - ② 車道は左側を通行
 - ③ 歩道は歩行者優先で、自転車は車道寄りを徐行
 - ④ 安全ルールを守る
* 飲酒運転・二人乗り・並進の禁止
* 夜間はライトを点灯
* 交差点での信号の遵守と一時停止・安全確認
 - ⑤ 子どもはヘルメットを着用
※警察庁ホームページより

WATCHING
歩行者や他の自転車
を避けて車道に
はみ出す自転車

観察場所は、東京都世田谷区桜付近の都道および、それに隣接する坂道。2時間の観察中、観察場所を通行した自転車は598台。そのうち、信号無視72台(12.0%)、逆走(車道の右側通行)47台(7.9%)、ヘッドホン使用22台(3.7%)、携帯電話使用18台



下り坂の先にある一時停止場所で、止まる自転車はほとんどなかった

- 観察場所 / 東京都世田谷区桜 1丁目付近
- 観察日 / 6月13日(金曜日)
- 天候 / 晴れ
- 観察時間 / 18:00~20:00
- 観察者 / 4人

街を走る自転車の行動を観察する

下り坂の先にある一時停止場所で、一時停止しなかった自転車は298台中292台(98.0%)



車道を逆走する自転車

都道の両側には歩道が設けられており、自転車通行可となっているため、多くの自転車が歩道を走っていたが、車道を逆走する自転車も観察された。都道には信号機が設置されているが、信号無視はクルマの通行が途切れた場合に多かった。並進や二人乗りのほとんどは、高校生または大学生と見られる若者だった。また、ヘッドホン使用は10~20代の学生や社会人だった。携帯電話使用では、信号待ちに携帯電話を取り出し、信号が変わっても使用したまま発進する自転車利用者が見られた。

一方、都道に隣接する坂道を下ってきた自転車は2時間で298台。そのうち、下った先にある停止線の手前で一時



二人乗りで車道の中央付近を走行している自転車



携帯電話の画面を見ながら運転している自転車利用者

停止した自転車、停止線を越えて一時停止した自転車はともに3台(1.0%)ずつ、残りの292台(98.0%)は一時停止しなかった。

この坂道は、クルマは下りのみの一方通行だが、自転車は両方向通行できるため、都道からこの坂道を上ってくる自転車も少なくない。一時停止場所は見通しが悪く、出会い頭事故の危険性も考えられる。しかし、ほとんどの自転車が一時停止や左右の安全確認をしなかった。一時停止しない自転車と、勢いをつけてこ

今回の下り坂での観察で、自転車はほとんどが一時停止であった。下り坂でついたスピードを利用して、交差する都道を走行したためだろう。止まっただけで、再度こぎ出すのが面倒に感じている自転車利用者は少なくないと考えられる。しかし、通行しているのは自分だけではない。自転車対歩行者の事故も増えており、自転車歩行者死亡させるケース

PROPOSE
他の交通参加者の
安全に配慮するため
にもルールを守って
ほしい

シートベルト着用理解促進のための小冊子「みんなでカチッとBOOK」発行



Hondaは、シートベルト着用の重要性や正しい着用方法を広く理解していただくための小冊子「みんなでカチッとBOOK」を作成した。この小冊子では、シートベルトを着用しない場合やチャイルドシートを使用しない場合の危険性を解説している他、6月1日より施行された改正道路交通法のポイントなどを掲載している。Honda四輪販売会社を通じて、お客様に配布する。

※「みんなでカチッとBOOK」は下記ホームページからPDFファイルにて全ページご覧いただけます。
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/>



日没後は無灯火で走っている自転車も多かった

また日没後、無灯火の自転車も目立った。日没後は、スピードを出して下ってくる無灯火の自転車は、坂道を上ってくる歩行者にとっては突然目の前に現れるように見えた。自転車利用者は必ずライトを点灯して、自分の存在を周囲の交通参加者に知らせることが大切だ。さらに基本的なルールを守り、安全運転を心がけてほしい。

●一時停止状況 (一時停止場所を通過した298台中)

停止線手前で一時停止	3 (1.0%)
停止線を越えてから一時停止	3 (1.0%)
一時停止しない	292 (98.0%)
合計	298

●その他の運転状況 (598台中)

信号無視	72 (12.0%)
車道の右側通行	47 (7.9%)
ヘッドホン使用	22 (3.7%)
携帯電話使用	18 (3.0%)
並進	18 (3.0%)
二人乗り	6 (1.0%)
無灯火*	139 (51.9%)

*19:00以降の1時間のみ観察 268台中

●お問い合わせ先
本田技研工業(株)安全運転普及本部
TEL: 03-5412-1736